

3-2 みやぎラムサールトライアングル魅力発信事業

事業目的

関係市や団体が連携して、3つのラムサール条約湿地(「伊豆沼・内沼」,「燕栗沼・周辺水田」,「化女沼」)を有機的に結び付け、湿地の賢明な利用について地域住民への普及啓発及び活動を支える人材を育成するとともに、ラムサールトライアングルの魅力を広く発信し、国内のみならず海外からの来訪者の誘致を目指します。

事業効果

CO2削減効果	—
その他	イベント参加人数 100人

事業内容

- 活用促進検討会の開催
- 魅力再発見事業
湿地周辺のワイズユースを考えるイベント等開催
- リレーシンポジウム開催
ラムサール条約湿地において、毎年1箇所順番にシンポジウムを行います。
- おもてなしマップ作成
多言語版配布用作成、日本語版配布用増刷
- パネルの作成
PR用展示パネル作成

平成28年度事業費 1,000千円

➢ 3つのラムサール条約湿地は、直径10km圏内の三角形の角に位置していることから、豊かな自然が残されている象徴として、地域の人に「ラムサールトライアングル」と呼ばれています。



現状



3つのラムサール条約湿地の名前は知っていても、どこにあるのか、わからない人が多い。
関わりたくても、どのように保全に協力すればいいかわからない。

税導入後のイメージ



ラムサールトライアングルマップの活用や、情報発信により、より多くの県民がラムサールトライアングルを訪れ、湿地の賢明な利用(ワイズユース)に興味を持ってもらい、保全活動につながっていく。